

お客様各位

UBS アセット・マネジメント株式会社

UBS グループによるクレディ・スイスの買収提案について

この度 UBS グループ（以下、UBS）は、クレディ・スイスに対する買収提案を発表いたしました。本提案と UBS アセット・マネジメント・グループ（以下、当グループ）のビジネスとの関係につき、下記の通りお知らせいたします。日本語版プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください。

これからの数週間から数ヶ月間は、UBS にとって新たな章の始まりとなりますが、引き続きお客様へ最良のサービスのご提供に努めてまいります。

敬具

記

長い歴史と伝統を誇るスイスの 2 大銀行の統合は、金融業界にとって歴史的な意味を持つ瞬間となります。互いのビジネスと文化を深く理解するとともに、互いの強みと領域を補完する 2 つのグローバルな銀行を結びつけることができるものです。また、市場をリードする資産運用能力の強化、主要市場におけるプレゼンスの拡大、商品提供の拡大という UBS の戦略を加速させる機会でもあります。

そして、スイス連邦財務省、FINMA、スイス国立銀行、国際規制当局の強力なバックアップにより、スイスの金融センターの世界的な重要性をより強固なものにすることができます。

<アセット・マネジメントのお客様にとっての意義>

本統合により、当グループは、1.5 兆米ドルの運用資産額を有する世界第 11 位の資産運用会社となり、欧州では第 3 位の資産運用会社となる予定です。この統合により、戦略的重点分野において、当社の能力を拡大し、お客様へのサービスを強化することができます。

- ー オルタナティブ運用の拡大：当社の強みである不動産に加え、プライベート・デット、ハイ・イールド、コモディティなどの分野で補完的な能力を構築
- ー カスタマイズかつサステナビリティ重視のソリューションに関する米国拠点での高い能力に裏付けられたパッシブ・プラットフォームは、世界ランキング 9 位から 6 位にまで規模を拡大する見込み
- ー 新しいテーマ別投資の提供
- ー 米国とアジア太平洋地域におけるプレゼンスの向上



<今後について>

当グループはお客様のために継続性を確保することに重点を置き、慎重に本統合を計画し、実行してまいります。

以上